

議会報告会報告書

平成 22 年第 3 回定例会において議決された議会報告会について、次のとおり実施したので、その結果を報告する。

平成 22 年 12 月 9 日

上富良野町議会議長 西 村 昭 教 様

議会運営委員長 中 村 有 秀

記

1 開催に至る経過

(1) 上富良野町自治基本条例の制定について

上富良野町自治基本条例素案の議会関係条文の検討協議は、総務産建常任委員会を 7 回、議会運営委員会を 7 回、全員協議会を 2 回開催し、「第 4 章 議会の役割と責務」として、「第 10 条 議会の役割と責務」、「第 11 条 議会の運営」、「第 12 条 議員の責務」と分けて成文化し、平成 21 年 4 月 1 日に施行された。

町主催の上富良野町自治基本条例素案の地域説明会が平成 20 年 11 月 5 日から 14 日に 6 箇所で開催され、特に議会関係の第 4 章について議会運営委員が分担して説明するとともに町民の意見等を十分聴取した。

その地域説明会において、「議会の役割と責務」が従来の「議会としての活動」、「議員としての活動」から、自治基本条例に基づく活動として強く求められていることを実感した。

これまで町議会は様々な議会改革を実施してきたが、町議会報告会や町民との懇談会を実施していないため、町議会報告会を実施して成果を挙げている鷹栖町、羽幌町の両町議会を先進市町村として平成 22 年 1 月 21 日から 22 日に行政調査を行った。

「開かれた町議会」、「協働のまちづくり」、「情報の共有」を目指して総務産建常任委員会、議会運営委員会、全員協議会で協議を重ね、今後、「住民会長連合会と町議会との懇談会」と「町議会報告懇談会」を開催することとした。

平成 18 年 4 月 27 日の開催以来、4 年振りの平成 22 年 2 月 17 日に「住民会長連合会と町議会との懇談会」を開催し成果を挙げ、アンケート調査では「毎年開催すべき」の意見が 73% あった。

(2) 町議会報告会について

平成 22 年 2 月 17 日開催の住民会長連合会との懇談会のアンケート調査結果で「町民対象の町議会報告懇談会の開催について」の設問に対し、「実施すべき」が 53%、「議会が自主的に考えるべきだ」が 40% あった。

町議会として自治基本条例に基づく町民の目線で開かれた町議会を旨として、議

会報告会を率先して実施する方針を確認し、次の時程で取り組んだ。

年 月 日	内 容
平成 22 年 3 月 3 日	議会運営委員会で「町議会報告会と懇談の夕べ」の開催方針を決定。
平成 22 年 3 月 4 日	全員協議会で「町議会報告会と懇談の夕べ」の開催方針を決定。
平成 22 年 5 月 28 日	議会運営委員会で「町議会報告会と懇談の夕べ」の開催予定を 10 月中旬から 11 月中旬とした。
平成 22 年 8 月 31 日	議会運営委員会で「町議会報告会」の開催を議員発議で第 3 回定例会に提出することを決定。
平成 22 年 9 月 8 日	議会運営委員会で「町議会報告会」の開催要項を協議し決定。
平成 22 年 9 月 9 日	全員協議会で開催要項及び議員発議案を決定。
平成 22 年 9 月 15 日	第 3 回定例会で「議会報告会実施に関する決議」を議決。
平成 22 年 9 月 29 日	住民会長連合会役員と正副議長・議運正副委員長・事務局長で「第 1 回町議会報告懇談会」について協議し、運営協力を要請。
平成 22 年 10 月 8 日	25 住民会長・126 町内会長に対し、議長・住民会長連合会長の連名にて「第 1 回町議会報告懇談会の開催」の案内と「町政・町議会の『ここが聞きたい』『要望・意見』の提出依頼文書」を発送。
平成 22 年 10 月 25 日	「議会だより第 68 号」に「第 1 回町議会報告懇談会」の周知チラシを折り込み、全戸配布する。
平成 22 年 10 月 28 日	町内主要箇所に「第 1 回町議会報告懇談会の開催」のポスターを掲示。
平成 22 年 11 月 4 日	住民会長・町内会長から「町政・町議会の『ここが聞きたい』『要望・意見』」を取りまとめ、8 住民会・4 町内会から「町政へ 17 件」「町議会へ 9 件」「地域課題へ 22 件」の合計 48 件を受理。
平成 22 年 11 月 5 日	議会運営委員会で報告懇談会当日の運営と役割分担を協議。 「町政の『ここが聞きたい』『地域の課題』」の回答を副町長に依頼し、回答が可能なものについては 11 月 9 日までに報告を求めた。
平成 22 年 11 月 6 日	北海道新聞富良野版に「9 日に初の町議会報告懇 - 上富良野」の記事が掲載。
平成 22 年 11 月 9 日	全員協議会で報告懇談会の運営、担当者等の確認及びアンケート調査（議会だよりを含む）の設問内容を協議。
平成 22 年 11 月 9 日	「第 1 回町議会報告懇談会」を開催。 参加者は富原会館 18 名、草分防災センター 6 名、社教センター 24 名、セントラルプラザ 23 名の合計 71 名（うち女性 5 名） 当日の運営及び進行と内容は別記。
平成 22 年 11 月 11 日	北海道新聞富良野版に「議会改革の経過報告 4 ヶ所で住民と懇談」の記事が掲載。
平成 22 年 11 月 26 日	議会運営委員会で「第 1 回町議会報告懇談会」の結果報告を協議し、アンケート調査集約状況を検討。
平成 22 年 12 月 4 日	住民会会長に礼状とアンケート調査結果を送付。
平成 22 年 12 月 6 日	議会運営正副委員長で「議会報告会報告書（案）」について打合せ。
平成 22 年 12 月 9 日	各班別で第 1 回町議会報告懇談会を総括し、全員協議会で全体総括。議会報告会報告書を決定。

2 議会報告懇談会の結果概要

(1) 当日の運営及び進行

町議会議員全員が 7 名ごとに分かれ、各担当を決めて 2 班体制で議会報告懇談会の運営を行った。各会場において、議会運営正副委員長の司会進行により、正副議長と住民会長代表から挨拶を行った後、出席議員の自己紹介を行った。

その後、議会運営正副委員長から配布資料により「議会改革の経過」、「道内町村における議員定数一覧表」、「上川管内町村の議員報酬・人口・議員定数」、「上富良野町と全道人口類似町の議員定数と報酬」、「全道の議員定数 12 名の町名と人口」を説明し、質疑を行った。

次に、統一テーマとした「議員定数と議員報酬」と「町政・町議会の『ここが聞

きたい』、『要望・意見』について、配布資料により説明し、併せて「町の方針と考え方」について報告し、質疑と懇談を行った。

最後に、参加者のアンケート調査を行った後、各常任委員長から閉会の挨拶を行い閉会した。

(2) 「町政・町議会の『ここが聞きたい』、『要望・意見』」の主な意見要望

住民会長・町内会長から事前に提出を受けた意見は 48 件で、その内、理事者からの回答 28 件の内容を報告しながら報告懇談会を進めた。

当日、会場から新たに 30 数件の意見要望が出されるなど活発な報告懇談会であった。

〔町政・地域の課題に対して〕の意見要望

農業振興について

- ・ 来年に向け農業者は不安であるので方向性だけでも示して
- ・ 農業支援で種子の助成検討と無担保の融資資金を

道路整備について

- ・ 基線道路の路面清掃・自転車道の整備を
- ・ 東中 8 線道路・18 号から 19 号までの道路改修を
- ・ 東明地区の道路側溝の整備を
- ・ 江花道路の歩道延長を
- ・ 多田弾薬支処に通じる道路の除草を
- ・ 本町地域の春の融雪時に発生する道路凹凸の解消を
- ・ 北 25 号道路の側溝整備を
- ・ 宮町住民会地域の歩道整備を
- ・ 南町地域の北 24 号道路は交通量が多いので歩道設置を

街路灯設置について

- ・ 基線道路に街路灯の設置を
- ・ 道道吹上上富良野線の市街地部分の街路灯の増設を
- ・ 生活灯の LED 化により CO2 削減と町内会等の電気料負担軽減を

地域の環境整備について

- ・ 見晴台公園改修計画の再検討を
- ・ 高校第 2 グランドの環境整備を
- ・ 畜産施設から夏場に発生する異臭対策を
- ・ 旭町教職員住宅の雑草等の対策を
- ・ 富原運動公園の樹木管理を
- ・ 本町住民会地域の公園等のフェンスの改修とペンキ塗り替えを
- ・ 旧東明官舎跡が町の雪置き場になっているが春の融雪時の対策を
- ・ ゴミの不法投棄対策を

その他

- ・ 人口増の移住定住対策を積極的に
- ・ 日の出公園に大型イベントを含めた駐車場の整備を
- ・ 商業の中心が線路から東方向に集中しているので、西側地域の高齢者等の

買い物対策を

- ・ パークゴルフ場事務所にAED設置を
- ・ 東明会館を住民会で管理しているが、利用量が多いので維持管理費について検討を
- ・ 職員を地域に充ててほしい
- ・ 町内会等の回報発行を推進すべきでは
- ・ 役場の機構改革で高齢者対策の担当職員の増員を
- ・ 駐屯地からの大砲音の対応を

〔町議会に対して〕

議員定数について

- ・ 1,000人に1人が望ましいのではないか
 - ・ 民意の反映には議員定数は減らすべきではない
 - ・ 議員定数・議員報酬は、全道・上川管内では、どのレベルか
 - ・ 14人ではなく、20人、22人に増やしてもいいと考える。推薦投票の方法で議員を選び委員会を増やし、専門的にまちおこしを検討しては
- ##### 議会活動について
- ・ 議会は使命感を持って活性化してほしい。
 - ・ 町を良くするため、町民に評価される議員になって欲しい。
 - ・ 海外視察状況の結果を町に取り入れることは至難の業であり、国内での行政調査を生かす努力をするのが良い
 - ・ 一般質問に対する努力・検討の理事者回答が、その後どうなったのか報告して欲しい

3 まとめ

初めての第1回町議会報告懇談会であり、先進地の鷹栖町議会、羽幌町議会を参考にしながら、議会運営委員会・全員協議会・各常任委員会で実施の協議を進めたが、「町政・町議会の『ここが聞きたい』『要望・意見』」を住民会長・町内会長に依頼し、その提出が48件あったことは成果であった。

これは、事前に住民会長連合会役員と協議し、住民会長・町内会長に郵送で依頼した結果と判断する。

しかし、提出いただいた住民会・町内会は、25住民会のうち8住民会、町内会等からは住民会と重複する要望意見もあるが4町内会と少ない結果であった。

議会報告懇談会が初めての開催ということもあるが、町民から期待されるような定着を図るためには、「『ここが聞きたい』『要望・意見』」で出された意見の実現と、住民の理解を得る努力と周知等の工夫を重ねていく必要がある。

参加者数は開催場所別参加者・住民会別参加者数(表1)のとおりであるが、郡部地区の参加者が少ないことは開催会場による影響があると判断する。

議員同士の協議及び町政への質問に対する回答期日も短く、十分な準備ができなかったこともあり、今後を生かしていかなければならない。

町議会に対する「ここが聞きたい」の質問で2住民会、1町内会から議員定数関係

があったので、「議会改革の経過」とともに、「道内町村における議員定数一覧表」、「上川管内町村の議員報酬・人口・議員定数」、「上富良野町と全道類似町の議員定数と報酬」、「全道の議員定数 12 名の町名と人口」の資料を作成し、この配布資料で出席された住民は上富良野町議会の議員定数と議員報酬については、理解されたと判断する。

参加者へのアンケート調査項目は、今回の開催と今後のためにと考えて質問項目の設定をした。また、「議会だより」の質問も併せて実施した。

アンケート集計は配布 71 枚、回収 69 枚、回収率 97.2%と高い回収率で、その内容を分析すると「第 1 回町議会報告懇談会」は 4 会場、71 名の参加者からは高い評価を受けているが、今後の期待も多く含まれていることを感じた。

今回、住民から出された「町政・町議会の『ここが聞きたい』『要望・意見』」で重要なものは理事者に提出し、その対応を求めるものとする。

また、平成 23 年 2 月 10 日発行の議会だより第 69 号に第 1 回町議会報告懇談会の結果内容を掲載し、住民への周知と情報の共有化を図る。

今後、「開かれた議会」、「町民の声が町政に、町議会に反映」、「町民の目線での町政・町議会」になるため、自治基本条例の趣旨に基づく議会報告懇談会を継続的に開催するにあたっては、規定の整備が必要と思われる。

(表1)

開催場所別の参加者数

会場名	開催時間	参加者数
富原会館 (1班)	13時30分から	18名(うち、女性2名)
草分防災センター (2班)	13時30分から	6名(うち、女性0名)
社会教育総合センター (1班)	18時30分から	24名(うち、女性1名)
セントラルプラザ (2班)	18時30分から	23名(うち、女性2名)
合計		71名(うち、女性5名)

住民会別の参加者数

郡部住民会	参加者数
富原	11名
草分	3名
島津	3名
日の出	2名
東中	2名
日新	1名
里仁	1名
江幌	1名
江花	1名
清富	0名
静修	0名
旭野	0名
計	25名

市街住民会	参加者数
中町	8名
緑町	4名
旭	4名
本町	4名
栄町	5名
住吉	4名
南町	3名
宮町	3名
西富	3名
泉町	3名
大町	2名
丘町	2名
東明	1名
計	46名